

63万のご支持、ご支援ありがとうございました。

引き続き、公約実現へ全力をつくします。

2013年7月29日
憲法が輝く兵庫県政をつくる会

2013年7月21日投開票の兵庫県知事選挙に、私たちは、前回に引き続き、田中耕太郎代表幹事を候補者として取り組みました。

県民のみなさんから過去最高となる62万7,874票（得票率27.16%）のご支持をいただきましたが、当選にはいたりませんでした。

安倍内閣による憲法改悪、消費税増税、社会保障改悪、TPP推進、原発再稼働、米軍基地移転などの動きの中で、住民のくらしを守る兵庫県の役割がますます重要になっているだけに、当選できなかったことは大変に残念です。

酷暑の中、活動を支えて下さった多くの方、ご支援をいただいたみなさんに、心から感謝申し上げますとともに、ご期待に応えることができなかったことを心よりお詫び申し上げます。

今回の選挙は、4年前と同じく兵庫県下の大企業に支持され、「オール与党」（自民・公明・民主・社民推薦）の野合を基盤に、原発再稼働や消費税増税などで安倍内閣と歩調をあわせる現職と、こうした政治を転換し、憲法どおりの政治をめざす新人・田中耕太郎の一騎打ちとなりました。

私たちは「兵庫を変えて、日本を変えよう」と呼びかけ、特に政策では「経済再建は地域から」「人にやさしい県政へ」「平和と安全を守る県政」という「3つの転換」を訴えて、大きなご支援をいただきました。

当選した現職陣営は「実績が評価された」「信任された」と繰り返していますが、地元メディアが「これだけの有権者が批判票を投じた事実は重く受けとめるべきだ」（7月23日付「神戸新聞」）と指摘したように、63万県民の批判は軽視されるべきではありません。

今回の選挙は、新しい県政の実現に向けた土壌を大きく広げるものとなりました。

私たちは、学校間格差を広げる高校通学区の拡大や「子ども病院」を埋立地（ポートアイランド）に移転しようとする現職の動きにストップをかけ、中学3年までの医療費完全無料化を求めるなど、今回の選挙で公約にかかげた諸政策の実現にただちに取り組みます。また国の悪政から県民を守る取り組みに、全力を尽くしていきます。

そして、知事の大きな権限を、県民のくらしや安全のために真剣に生かす県政、「憲法が輝く兵庫県政」の実現のために、ただちに次の選挙に向けた努力を開始していく決意です。

県民のみなさん、サポーターのみなさんの一層のご支援を、心よりお願いいたします。